



令和7年3月18日
小田原市立報徳幼稚園
園長 岩田 京子

ほし組さん 卒園おめでとうございます！



早咲きの桜が咲き、1年生になる日が近いことを知らせているようです。

6人で、いろいろなことを考え、様々なものをつくり上げてきたほし組。想像を超えることが起きても、力を合わせて解決してきました。その姿は、まさに“ピンチはチャンス！”でした。卒園のときが近くなり、「この子たちなら大丈夫！きっとやり遂げる！」と思える場面に沢山出会うようになりました。

このように子どもたちの成長を感じながら、卒園のときを迎えることができるのも、保護者の皆さんの温かいご理解とご協力のおかげです。職員一同、心より感謝申し上げます。

【たくさん遊んだね！】

第3学期、ほし組が考えた遊びは『お城ごっこ』でした。ゲームボックスを使いお城をつくったり、王子さまやお姫様の衣装を考えたりしながら遊びはどんどん進みました。お城の隣で、ばら組さんたちが線路や道をつくり、電車や消防自動車を走らせていました。ばら組さんが線路に踏み切りをつくり、「遮断機を動かしたい！」と悩んでいると、「紐をつけて動かすようにしたら！」と、アドバイスをしてくれたり、「消防車で消火活動したい。」という意見に、早速ドラゴンをつくり、炎を吐き出すようにつくってくれたり、と、ばら組さんの話をしっかり聞きながら遊びを考えてくれていました。つくっては遊び、つくっては遊びを繰り返していくうちに、子どもたちから、「家の人にも遊んでほしいな。」と、自分たちがつくり上げた、自慢の遊びを経験してほしいという気持ちをもつようになりました。そして、家の人を招待する日を決め、ワクワクドキドキの日々は続きました。

お城づくり



「お城に何が必要かな？」輪になって皆で考えます。



王子様が乗るための馬を何でつくるかアイデアを出し合い、大型ブロックでつくることにしました。



「歩くと本物のヒールみたいにコツコツ音がするんだよ。」と、お洒落なヒールづくりにも挑戦。



ふかふかなベッドにするために、年少のときにつくったジンベイザメを思い出し、ビニール袋に新聞紙を詰めました。



お城で寝るための大きなベッド。工夫した甲斐があり、ふかふかのベッドができあがりました。



ばら組さんから、「踏切が上がったり下がったりするようにしたい！」という相談を受け、一緒に考えました。

お家の人を招待



お城でメイクをしたり、ベッドに寝たり、女の子たち、とても嬉しそうでした。



ばら組さんがつくった小田急線。踏切もしっかり動きました。



お城のドラゴンが火を噴くと、急いで消防車が出動。消火活動します。

【城北中学校3年生との交流】

城北中学校の3年生が手作りおもちゃをつくってくれ、一緒に遊ぶことができました。ボーリング、キャタピラー、的あて、新聞紙プール、絵本など、教室や体育館で、交流を楽しんでいた子どもたちでした。



【報徳小との交流】

報徳小学校の校庭で、1年生と一緒にゲームをしたり、遊具で遊んだりしました。小学校への不安が少し減ったかな。



【桜井小との交流】

桜井小学校に、給食体験に行かせていただきました。給食の前に1年生のクラスで、合奏を聞いたり、一緒にゲームをしたりして遊ぶことができました。



【給食体験(報徳小・桜井小)】

報徳小学校と桜井小学校で給食体験をさせていただきました。配膳の仕方や、「減らしてください。」「お代わりをください。」の経験もしました。桜井小学校では、牛乳パックのたたみ方も1年生が教えてくれました。給食が楽しになったね！



【未就園児との交流】

2月3日(月)未就園児と一緒に豆まきを行いました。優しい鬼たちは、ちびっ子たちが豆を投げて笑顔で逃げていました。



【桜井保育園との交流】

2月14日(金)桜井保育園との交流が行なわれました。一緒にダンスをしたり、ドッチボールをしたり、リレーはとても迫力がありました。



【二世会観劇】

2月4日(火)、小田原三の丸ホールで行われた二世会主催の観劇に行ってきました。演目は『ピーターパン』。ピーターパンやティンカーベルが空を飛ぶと、「わあ！」と驚きの声。最後まで楽しく見る事ができました。そして、昼食は三の丸小学校の体育館をお借りし、「いただきます!」。楽しい1日でした。



【小学校生活に向けて】

2月17日（月）、交通安全教室が行なわれました。今回は、就学前交通安全教室ということで、年長児を対象に行いました。室内の講話では、“カッピー”の登場。カッピーと一緒に、「止まって、手を上げ、右見る、左見る・・・」と、声を出しながら横断歩道の渡り方の練習。講話の後は、通学路を1人で歩くことを想定した道路の歩き方を教えていただきました。子どもの視野は、大人が思っているよりも狭いようで、“見えていない”のではなく、“見えていない”ことも多いようです。小学校に就学する前に、通学路の中で危険な場所はどこか、どのように歩いたら安全か、お子さんと一緒に歩きながら、知らせてあげてください。繰り返し行うことで、身に付いていくと思います。まだ、言葉だけでなく、経験をすることでより確実に身に付く年齢です。“自分の身は自分で守れる”力を付けてあげてください。



【年長から年少へバトンタッチ】

ばら組さんたちと一緒にいった“挨拶当番”でも、「年少さんが初めての当番だから頼むね。」と声を掛けると、大きくうなずき、一生懸命、気持ちを合わせて挨拶をする姿が見られました。小さな背中に緊張感が感じられましたが、当番が終わったときの顔は、やり遂げた満足感でいっぱいでした。

挨拶は、人と人をつなぐ大切なツールの一つです。その場に應じたいろいろな挨拶が自然に言える子どもたちであってほしいです。



【お別れ散歩】

3月10日（月）に、年少、年長一緒にウォークラリーをしながらお別れ散歩を行ないました。桜、水仙、白鷺、富士山、タヌキの置物、二宮金次郎などを探しながらの散歩を楽しみました。



♪ いつの間にか ぼくたちは 1人であるいてきたよ～

6年前に この世に生まれて 小さなこの命 ♪

私の好きな歌です。卒園を迎える日が近付いてくると、いつの間にか口ずさんでいます。2年前、幼稚園に送り出すに当たり、『楽しく遊んでいるかしら?』『泣いていないかしら?』『先生の話は聞いているかしら?』と、心配されたこともあったと思います。4月からの小学校生活に当たっても、幼稚園とは違った心配や不安があると思います。しかし、いつの間にか1人で歩いていた子どもたちは、2年間の幼稚園生活の中で、集団生活の過ごし方、友達との関わり方などを学び、自分の力にしてきました。その力を土台に、小学校でも更に大きく成長していくと思います。でも、新しい生活に慣れるまでは、心も体も疲れやすくなるので、お子さんの様子を見守り、癒してあげてください。“じっくり、ゆっくり、ゆったり”親子共に楽しんでください。



子どもたちの成長を感じながら、令和6年度の終わりを迎えることができますのも、大勢の皆様のおかげと思っています。温かいご支援とご協力に、心から感謝いたします。ありがとうございました。

